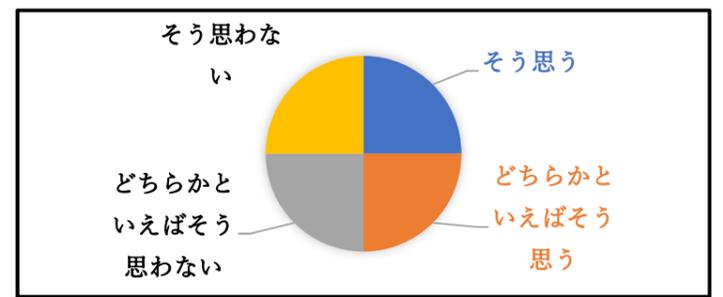


学校評価(前期)アンケート結果について

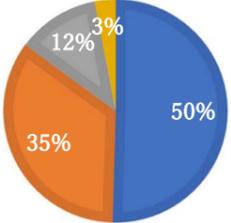
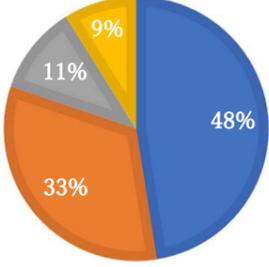
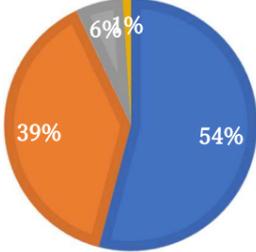
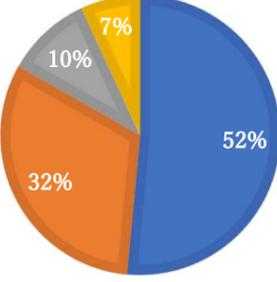
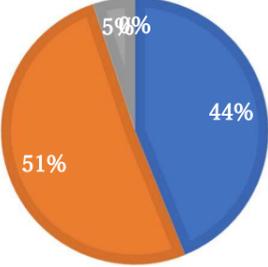
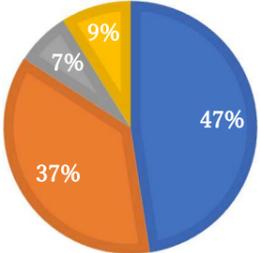
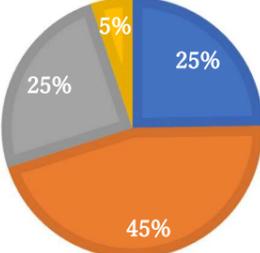
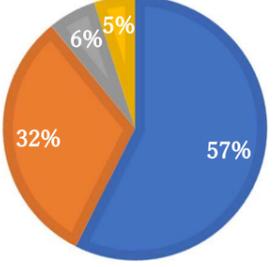
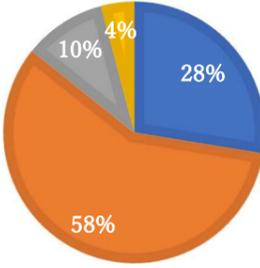
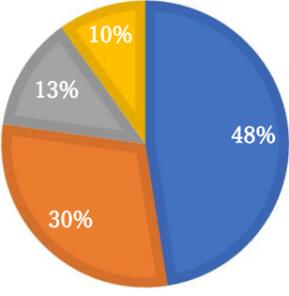
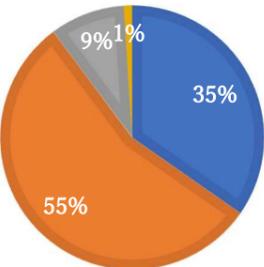
【調査日時】 令和4年7月15～18日

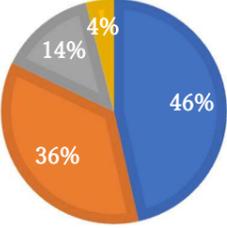
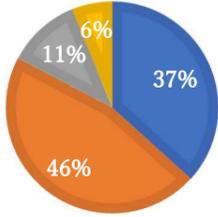
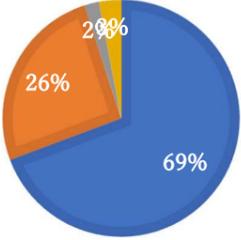
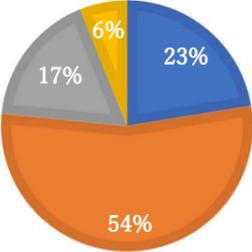
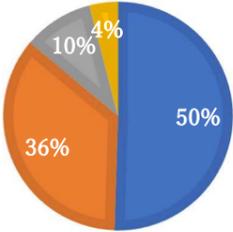
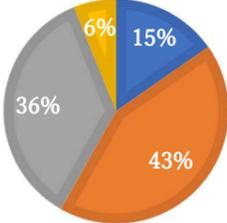
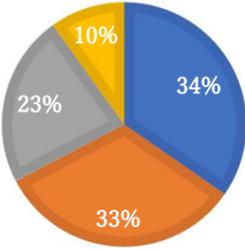
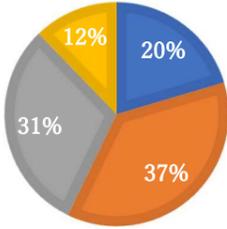
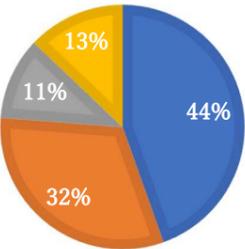
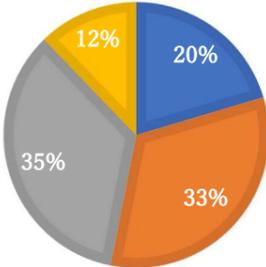
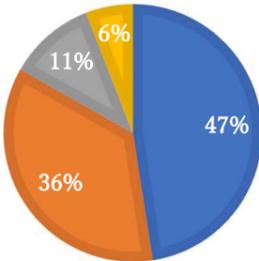
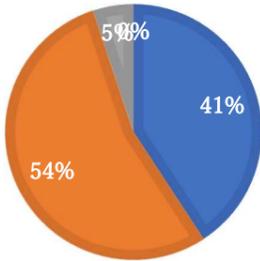
【調査方法】 Googleフォームによるアンケート(4選択式)

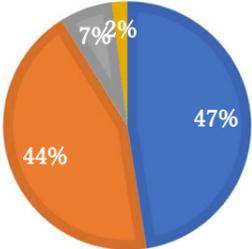
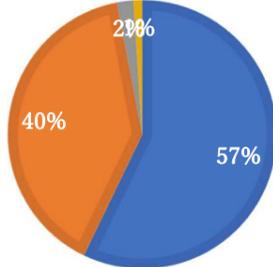
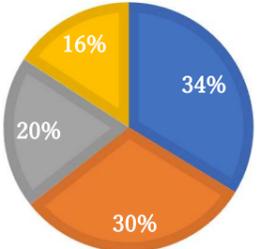
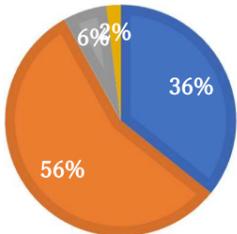
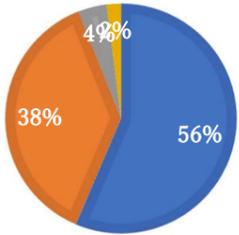
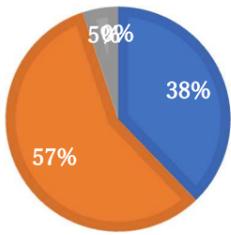
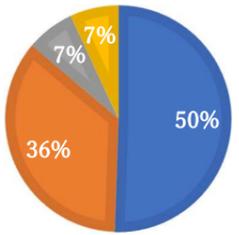
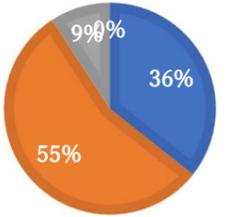
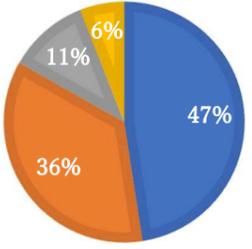
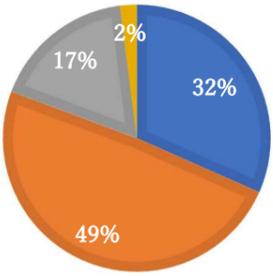
【回答者数】 児童102/108人、保護者99人(児童一人につき一回ずつ回答)



児童	保護者	考察
<p>①学校だより、学年通信、ホームページを読んだり見たりしている。</p>	<p>①オープン参観日や学校・学年便り、学校HPを見て、行事に参加すると共に、アンケート等で感想や意見を学校に届けている。</p>	<p>保護者は学校からの連絡をよく見ており、行事ごとの感想や意見も届けて下さっている。今年度からメール配信も加わり、より確実に連絡が届いているものと思われる。児童には、配布時に一声かけたり、一緒に内容を見たりして、関心を持たせていきたい。</p>
<p>②自分から家庭や地域で挨拶をしている。</p>	<p>②お子さんは家庭や地域で自分からあいさつをしている。</p>	<p>昨年度後期の結果と比べると、あいさつができてきている児童が増えている。家庭内、地域でのあいさつを今後も大切にしていきたい。</p>
<p>③何時に寝ていますか。</p> <p>■8～9時 ■9～10時 ■10～11時 ■11時以降</p>	<p>③お子さんは何時に寝ていますか。</p> <p>■8～9時 ■9～10時 ■10～11時 ■11時以降</p>	<p>8割以上の児童が10時までに就寝しており、昨年度後期の結果と比べて、増えている。早寝早起きプロジェクトの取り組みの成果が出ているものと思われる。今後も、学校の大きな取り組みの一つとして、「早寝・早起き・朝ごはん」を呼びかけていきたい。</p>
<p>④何時に起きていますか。</p> <p>■6時まで ■6時～6時半 ■6時半～7時 ■7時以降</p>	<p>④お子さんは何時に起きていますか。</p> <p>■6時まで ■6時～6時半 ■6時半～7時まで ■7時以降</p>	<p>昨年度後期の結果と比べて、6時半までに起きている児童が微増している。早寝早起きプロジェクトの取り組みの成果が出ているものと思われる。</p>
<p>⑤朝ご飯を食べて登校している。</p>	<p>⑤お子さんは朝ごはんを食べて登校している。</p>	<p>ほとんどの児童が毎朝、朝食を食べて登校している。食べて来られない児童を個別に見ていく必要がある。</p>
<p>⑥ゲーム、テレビ、スマホ等のきまりを守っている。</p>	<p>⑥お子さんは、ゲーム・テレビ・スマホ等のきまりを守っている。</p>	<p>3割ほどの児童がきまりを守れていない。昨年度後期と比べると、保護者の回答はほとんど変わっていないが、児童の回答は「守れていない」と答える児童が微増している。保護者が把握しきれていないところで、きまりを守れていない児童がいることがわかる。自覚できていることが伺えるので、それを啓発や指導につなげることができそうだ。</p>

児童	保護者	考察
<p>⑦生活目標やきまりを守って生活している。</p> 		<p>ほとんどの児童が目標やきまりを意識して生活している。毎日、月末のふり返りを大切にしていきたい。</p>
<p>⑧学校に行くのは楽しいと思う。</p> 	<p>⑦お子さんは元気に楽しく学校に通っている。</p> 	<p>8割以上の児童が楽しく学校生活を送っている。半面、そう思わない2割の児童を把握し、気にかけていく必要がある。</p>
<p>⑨地域のことを学ぶのは楽しい。</p> 	<p>⑧学校は地域の教材や人材を生かした学習を進めている。</p> 	<p>今年度も、たくさんの地域の方にお世話になり、大変ありがたい。8割以上の児童が地域学習を楽しんでいると思っており、9割以上の保護者も評価してくださっている。今後も、地域教材を大切に、たくさんの方とつながる機会を作っていきたい。</p>
<p>⑩夢や目標を持って、学習したり生活を送ったりしている。</p> 	<p>⑨お子さんは夢や目標をもって学習や生活をしている。</p> 	<p>8割以上の児童が肯定的な回答をしているが、児童と保護者の回答にはずれがあり、保護者の3割はそう思っていない。学期ごとのキャリアファイルの共有等、児童の夢や目標が保護者に伝わる機会も大切にしていきたい。</p>
<p>⑪国語や算数などの授業はよくわかる。</p> 	<p>⑩国語や算数などの授業内容をよく理解していると思う。</p> 	<p>9割近い児童・保護者が授業内容を理解できていると回答している。毎日の授業の中を工夫し、丁寧に指導することはもちろん、復習やスキルタイムでの繰り返し学習、放課後頑張りタイムとの連携等ですべての児童が授業内容を理解できるようにしていく。</p>
<p>⑫担任以外の先生に教えてもらおうと、やる気が出て学習の内容が良くわかる。</p> 	<p>⑪多くの専科の先生方に教えてもらうことによって、意欲的に取り組んだり、授業内容をよく理解したりしていると思う。</p> 	<p>複数の教師で指導していくことに対して、特に保護者に肯定的な評価が多い。学校生活全体を通して、複数の教師で指導にあたり、児童のやる気や理解につなげていきたい。</p>

児童	保護者	考察
<p>⑬タブレットを使うと、やる気が出て学習の内容がよくわかる。</p> 	<p>⑫お子さんはタブレットを活用することによって、学習への意欲や理解が深まっていると思う。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、肯定的な回答の児童が計67%→82%と大幅に増加している。タブレットの活用が定着し、確実に結果が出ていることが伺える。</p>
<p>⑭授業中、問題を一生懸命に考えている。</p> 	<p>⑬お子さんは学習に主体的に取り組んでいる。</p> 	<p>児童に比べ、保護者の方が否定的な意見の割合が多く、認識の差があるようだ。児童の頑張りや保護者に伝えることとあわせ、児童にも毎月の学習目標等で授業への取り組み姿勢を啓発していきたい。</p>
<p>⑮人と話し合うことで学習がよくわかる。</p> 	<p>⑭お子さんは、話し合ったり、本で調べたりする学習で力をつけている。</p> 	<p>これも保護者と児童の回答には大きな差があり、認識の差が伺える。授業参観等で見ていただくとともに、協働学習の様子をお便り等で発信していくことも有効であると考えます。</p>
<p>⑯学習したことをさらに深く学習している。</p> 	<p>⑮お子さんは学習したことに興味を持ったり、さらに調べたりして学習を深めている。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、肯定的な回答の児童が計52%→67%と大幅に増加している。タブレットの活用で、調べ学習のスキルが上がったことも影響しているかと思われる。</p>
<p>⑰家でも学習に取り組んでいる。 (学年×10分+10分)</p> 	<p>⑯お子さんは宿題と自主的な家庭学習をしている。(10分×学年+10分)</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、児童の回答では、「取り組んでいる」と答えた児童が計63%→計76%に増加しているが、保護者の回答の割合は、昨年度とほとんど変わらず半数ほどである。学年に応じた時間の学習ができるよう、市家庭学習の出し方を工夫するとともに、児童が取り組みの姿勢や内容を客観的に振り返ることができるようにすることも必要である。</p>
<p>⑱自分のことが好きで、自分のことを大切にしている。</p> 	<p>⑰お子さんは、自分のことが好きで、自分を大切にしている。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、児童の回答は、肯定的な回答が計66%→計83%に増加しており、保護者の回答も微増している。今後も、保護者とともに児童の自己肯定感を高めることを大切にしていきたい。</p>

児童	保護者	考察
<p>⑱人に嫌がることをせず、誰に対しても優しい言葉がけができている。</p> 	<p>⑱お子さんは、人を大切にする気持ちが育ってきている。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、児童の回答は、肯定的な回答が計77%→計91%に増加している。南小の良さの一つとして、大切にしていきたい。</p>
<p>⑳家の人と思いやり・協力・やさしさなどについての話をしている。</p> 	<p>⑱お子さんと人権（思いやりや協力、やさしさなど）の大切さについての話をしている。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、保護者の肯定的な回答が微増している。ただ、児童と保護者との認識のずれ（保護者は話をしていると思っているが、児童はそうとらえていない）が30%近くある。学校での人権学習の様子も家庭に伝え、親子で話題にしてもらえようようにしていきたい。</p>
<p>㉑縦割り班活動を通して、仲間や下級生にやさしくしている。</p> 	<p>㉑お子さんは地域や家族、友だちのために声をかけたり手助けしたりしている。</p> 	<p>たて割り班遊び、児童会行事、縦割り班そうじが定着してきていることもあってか、昨年度後期の結果と比べ、児童の回答は、肯定的な回答が計85%→計94%に増加している。今後も大切にしていきたい。</p>
<p>㉒自分には良いところがあると思う。</p> 	<p>㉒お子さんは自分の長所を伸ばそうとしている。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、児童の回答は、肯定的な回答が計74%→計86%に増加した。「自分のことが好きで、自分を大切にしている」の項目の結果ともリンクしており、うれしい結果である。</p>
<p>㉓自分の苦手なことやできないことにこつこつと取り組んでいる。</p> 	<p>㉓お子さんは自分の力を伸ばそうとこつこつ努力している。</p> 	<p>昨年度後期の結果と比べ、児童の回答は、肯定的な回答が計70%→計83%に増加した。今後も取り組む過程を大切に、評価していきたい。</p>

【総合考察（昨年度後期アンケートとも比較して）】

- 生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の定着度がアップ。プロジェクトが確実に実を結んでいることが伺える。
- 児童の自己肯定感、人を大切にする、苦手なことに取り組む、学習への取り組む気持ち、夢や目標を持つ等がそれぞれにアップ。児童が違うので一概には言えないが、前向きに取り組もうという土壌ができてきていることが窺える。
- タブレットを活用した学習は効果が出ている。
- 地域学習を楽しみにしている児童がたくさんおり、保護者も評価してくださっている。今後も大切にしていきたい。
- △学習に関する項目については、保護者と児童との認識のずれが見られる。（児童に比べ、保護者の肯定的な回答が低い。）
- △家庭学習の取組みが不十分と感じている保護者が半数近くいる。